



町内初の認知症対応型グループホーム建設予定地

## 恵庭市の介護サービス

# 標津町に初のグループホーム

## 来年1月オープン目指す

道内で介護事業を展開する恵み野介護サービス(本社・恵庭市)が標津町字標津1-3-26番地に町内初となる認知症対応型グループホームを開設することが5日、分かった。開設後の名称は「グループホームだんらんしべつ(仮称)」で、2010年1月のオープンを目指す。

認知症対応型グループホームとは、認知高齢者がスタッフの介護を受けながら、共同

生活する住宅で、建設する施設は、木造平屋で延べ床面積が約530平方メートル。定員18人としている。建設費は6600万円、建設するため敷地約2000平方メートルは、町が無償で提供する。建設は8月から始まるが、今年中に9室を先に完成させ、残りは来年以降に建設する予定。

このほか同社では、現地法人「標津介護サービス(仮称)」を設立する予定で、これによ

り町は税収が見込めるほか、ケアマネージャーや介護、事務職員など10人程度町民から採用したい考えなど、雇用の確保にもつながる。同社の皆川勝男社長は「地域に密着し、認知症の人たちを一人でも多く助きたい」と意欲を示す。担当する保健福祉センター

ひまわりの鈴木邦夫次長は「グループホームは町内の施設待機者が待ち望んでいただけに、問題解消に少しでもつ

ながればうれし」と話している。

(前田大介)